

地域活動における新型コロナウイルス感染症 拡大防止の為の対応

地域福祉活動にあたっては、以下の留意事項を踏まえ、感染症拡大防止のための対応をご検討いただき、感染を広げないように意識して取り組みましょう。

感染の予防

1 参加者名簿を作成しましょう。

2 参加者の体温と体調を確認しましょう。

- 参加者の体温、体調、マスク着用の記録を残しましょう。
- 発熱（37.5℃以上もしくは平熱より1℃以上高い）、風邪症状がある場合は参加を控えてもらいましょう。

3 こまめな手洗い、うがい、消毒などの基本的な感染症予防対策を徹底しましょう。

4 マスクを着用しましょう。

- 野外で十分な距離（2 m以上）が確保できる場合はマスクを外すなど身体的に配慮しましょう。
- マスクを着用して運動する場合は、熱中症の危険が増えるため、無理のないように行い、休憩をとるようにしましょう。
- 熱中症予防のため、こまめな水分補給や室温調整をおこないましょう。

5 会場の備品や設備を消毒しましょう。

- 複数の人がよく触れる場所や物は、アルコール等でこまめに消毒しましょう。

6 食器、コップ、箸、タオルなどは共有せず、使い捨ての物を使用しましょう。食器・コップなどは洗剤で適切に洗浄しましょう。

- 会食などは大皿を避け、料理は個別に配膳しましょう。
- 茶菓子は個別包装されたものを提供しましょう。

3 密（密閉・密集・密接）の回避

1 フィジカルディスタンス（身体的距離）を確保しましょう。

- 人と人との間隔は手を伸ばしたらお互いの手が届く範囲（最低1 m）は空けるよう席の配置に配慮しましょう。
- 参加人数は会場の定員50%未満としましょう。

2 室内で開催する場合は、適切に換気をしましょう。

- 換気の悪い場所がある時には、その場所は極力使わないようにしましょう。
- 30分に1回以上、5分ほど、換気をしましょう。
- 2方向の窓を5分程度、全開にするなどして換気をしましょう。
- 換気が難しい場合には扇風機などを使用して、できる限り換気に努めましょう。

3 座席の配置について、対面ではなく、横並びで座るなどの工夫をしましょう。

<参 考>

「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮して通いの場等の取組を実施するための留意事項について」（厚生労働省）

「サロン等高齢者の通いの場に関する感染症対策について」（大津市長寿政策課／大津市ホームページ）

「通いの場×新型コロナウイルス対策ガイド」（東京都健康長寿医療センター研究所）